



第58期 株主通信 | 平成27年4月1日～平成28年3月31日

*Kyorin* 

健康はキョーリンの願いです。

## 健康はキョーリンの願いです。

キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、  
人々の健康に貢献する社会的使命を  
遂行します。

## Profile

### 持株会社体制

「キョーリン製薬ホールディングス株式会社」は、グループ統轄会社としてグループ全体の経営戦略機能を担い、経営資源の効率的な配分や運用を行うことでキョーリン製薬グループ全体の総合力を発揮し、連結業績の向上に努めています。

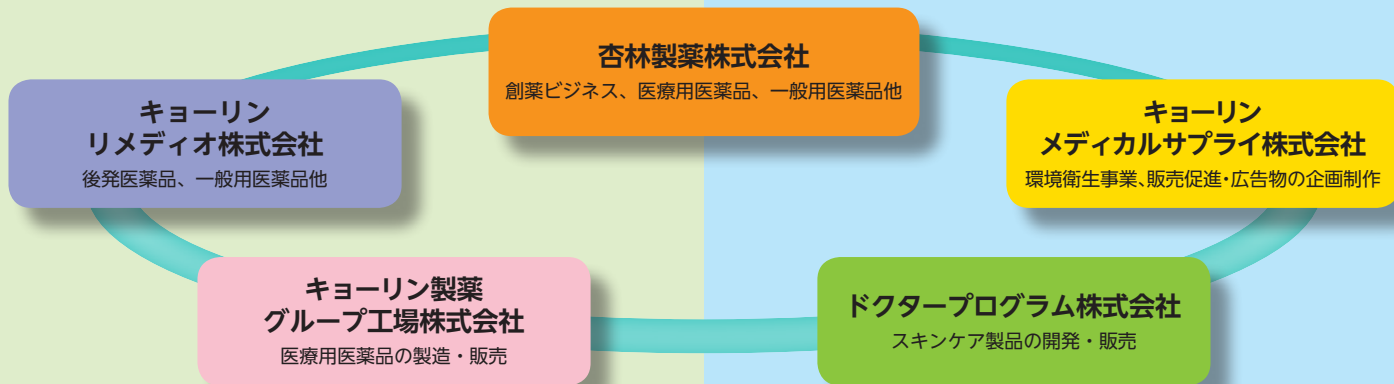
### 医薬品事業

(新医薬品、後発医薬品)

### キョーリン製薬グループ

### ヘルスケア事業

(環境衛生、スキンケア、一般用医薬品他)



### 長期ビジョン「HOPE100」

(平成22年度～35年度)

HOPE: Aim for Health Of People and our Enterprises

キョーリン製薬グループは、ヘルスケア事業を多核的に展開・発展させ、社内外に認められる健全な健康生活応援企業へと進化します。

### 中期経営計画「HOPE100—ステージ1—(平成22年度～27年度)」

#### 事業戦略 Strategy

医薬品事業を中核とするヘルスケア事業の多核化

#### 組織化戦略 Organization

グループ各社の社員にとって「働きがいNo.1企業」の実現を目指す

#### 成果目標 Performance

平成27年度  
連結売上高 1,202億円  
連結営業利益 460億円  
配当性向 30%を目標

## 長期ビジョン「HOPE100」の実現により 一層の企業価値の向上に取り組んでまいります。



代表取締役会長  
山下 正弘

代表取締役社長  
穂川 稔

平素よりキョーリン製薬グループに対しまして格別のご理解とご支援を賜り、誠に有難うございます。

当社グループの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第58期につきまして、事業の概況をご報告申し上げます。

●●●  
当社グループは、「キョーリンは生命を慈しむ心を買き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」という企業理念の具現化に向け、当社グループの中核企業である杏林製薬(株)の創業100周年(平成35年)をみすえた長期ビジョン「HOPE100」及び中期経営計画「HOPE100－ステージ1－(平成22年度～27年度)」を策定し、その実現に真摯に取り組みました。

平成27年度は、その最終年度であり、一層厳しさの増す経営環境下ではありましたが、連結ベースでの業績向上に努めました。

これからも当社グループは、企業理念の具現化に向け、医療用医薬品事業とヘルスケア事業を複合的に組み合わせ、事業リスクの分散を図り、健全かつ持続的に成長する「健康生活応援企業」への進化を目指します。

平成27年6月に、山下正弘が代表取締役会長、穂川稔が新たに代表取締役社長に就任し、新経営体制となり1年が経過しました。

今年4月には、新中期経営計画「HOPE100－ステージ2－(平成28年度～31年度)」がスタートし、より高いレベルでの数値目標達成と長期ビジョンの実現に向けて取り組んでおります。

当社グループは、一層厳しさの増す経営環境下ではありますが、総力を結集し、さらなる企業価値向上に邁進してまいります。

引き続き、なお一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 当期の概況

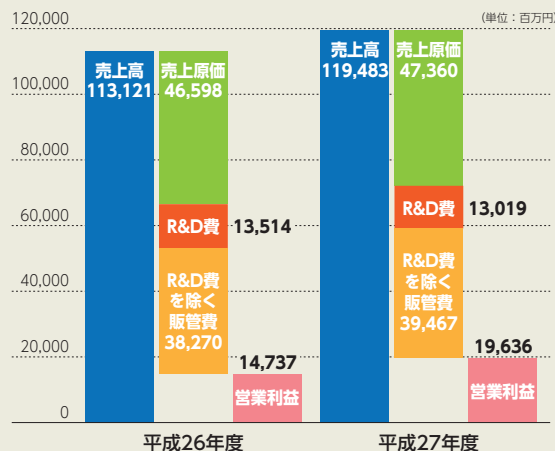
当連結会計年度における国内医薬品業界は、医療費・薬剤費の抑制策が継続的に実施されるなか若干の市場成長を示しましたが、社会保障費の歳出を抑制する薬価制度改革等の具体的な検討が開始され、市場構造の大幅な変化を予感させる厳しい事業環境となりました。また、ヘルスケア事業を取り巻く環境は、景気が横ばい圏内にとどまり、個人消費の動きは弱い状況で推移しました。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画「HOPE100－ステージ1－(平成22年度～27年度)」の最終年度として、経営方針に「ファーマ・コンプレックス・モデル(PCモデル:新たな医薬事業モデル)への取り組み促進」「ヘルスケア事業の成長加速化」を掲げ、様々な環境変化に対応できる事業戦略の再構築と新たな核となる事業の成長に取り組み、持続成長とステークホルダーの皆さまからの支持・評価の向上に努めました。

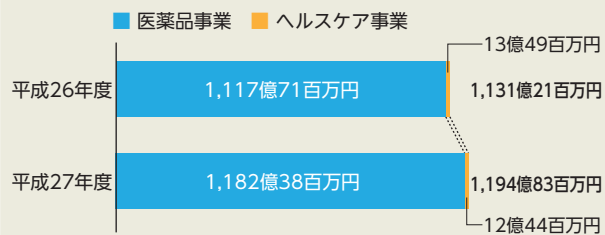
この結果、当連結会計年度の業績は、新医薬品の売上が前年を大幅に上回り、過去最高の1,194億83百万円と前年比63億62百万円(前年比5.6%増)の増収になりました。

利益面では、主力製品の増収と契約一時金収入等により売上総利益が前年に対して55億99百万円増加しました。販売費及び一般管理費は前年に対して7億00百万円増加(内、研究開発費:4億95百万円減)しましたが、営業利益は過去最高の196億36百万円(前年比33.2%増)、経常利益は199億95百万円(前年比29.1%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、杏林製薬(株)の旧東京支店の土地・建物の譲渡益約18億円を含む約19億円を特別利益に計上し、同社の岡谷工場閉鎖に関わる損失約27億円を含む約31億円を特別損失に計上したことから、136億39百万円(前年比13.1%増)となりました。

## 損益の概要



## セグメント別売上高



## 平成29年3月期連結業績予想(通期) (平成28年5月12日公表数値)

売上高	1,200億円 (前年比 0.4%増)
営業利益	145億円 (前年比 26.2%減)
経常利益	149億円 (前年比 25.5%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	107億円 (前年比 21.6%減)

## セグメントの状況

**国内新医薬品** 特定領域(呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科)の医師、医療機関に営業活動を集中するFC(フランチャイズカスタマー)戦略を推進しており、平成27年度は呼吸器領域において、喘息治療配合剤「フルティフォーム」や気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレス」等、主力製品の普及の最大化に努めるとともに、COPD(慢性閉塞性肺疾患)治療剤「エクリラ ジェヌエア」を平成27年5月に新発売し、同領域でのプレゼンス向上に努めました。また新しい剤型として「キプレスOD錠(口腔内崩壊錠)」及び潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ顆粒94%」を同12月に新発売し、医薬品事業の売上拡大を図りました。主力製品では、「フルティフォーム」、「キプレス」、過活動膀胱治療剤「ウリトス」は前年の売上を上回りましたが、長期収載品である「ペンタサ」、去痰剤「ムコダイン」は前年を下回りました。これらの結果、売上高は926億95百万円(前年比1.8%増)となりました。

**海外新医薬品** 広範囲抗菌点眼剤「ガチフロキサシン(導出先:米国アラガン社)」に関わる収入が前年を上回ったことや、米国プリストル・マイヤーズスクイブ(BMS)社と「FPR2作動薬プログラム」に関するライセンス契約を締結し契約一時金収入を売上に計上したことから、売上高は55億86百万円(前年比441.2%増)となりました。

**後発(ジェネリック)医薬品** 後発医薬品の使用促進策の浸透、オゾンライズド・ジェネリックの発売等の影響により市場が拡大するなかで、自社販売による売上は増加したものの、他社受託ビジネスの売上が減少し、売上高は154億65百万円(前年比0.1%減)となりました。

**一般用医薬品他** 主要製品である環境除菌・洗浄剤「ルビスタ」、哺乳びん・乳首・器具等の消毒剤「ミルトン」の伸長により、環境衛生に関わる売上が増加し、売上高は44億90百万円(前年比7.3%増)となりました。

この結果、医薬品事業におけるセグメントの売上高は1,182億38百万円(前年比5.8%増)となり、営業利益は194億99百万円(前年比33.8%増)となりました。

研究開発の状況につきましては、自社創業、導入品の開発、既存品のライフサイクルマネジメント(新効能・効果取得、剤型追加)を推進し、特定領域(呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科)における研究開発パイプラインの構築と拡充に取り組んでおります。

国内開発の進捗状況としましては、遺伝子治療薬「Ad-SGE-REIC製剤」の悪性胸膜中皮腫を対象疾患とするPh(フェーズ)I/II臨床試験を平成27年7月より、耳鳴治療剤「KRP-209」のPhII再試験を同8月より、キノロン系合成抗菌剤「KRP-AM1977Y」のPhIII臨床試験を平成28年3月より開始しました。また、ライフサイクルマネジメント(新剤型の開発)として、気管

支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤「キプレスOD錠(口腔内崩壊錠)」及び潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤「ペンタサ顆粒94%」の製造販売承認を平成27年8月に取得し、同12月に新発売しました。なお、アレルギー性疾患治療薬「デスロラタジン」につきましては、同10月にMSD(株)が製造販売承認を厚生労働省に申請いたしました。当初、MSD(株)と共同販売契約を締結しておりましたが、平成28年5月、製造販売承認の取得、薬価収載後に杏林製薬(株)が独占的に販売することで合意いたしました。

自社創業におきましては、これまで創業研究所及び開発研究所の2箇所に分散していた国内の研究所を集約し、新研究開発拠点「わたらせ創業センター」として平成27年7月に本格稼働いたしました。また、同11月にはペプチドリーム(株)との間で複数の創業標的タンパク質に対して特殊環状ペプチドを創製する共同研究開発契約を締結いたしました。自社創業にオープンベーションを重ねることで、これまでも増して、特定の疾患領域にフォーカスした新薬の創製、成長戦略に資する創業イノベーションの推進に取り組めます。

導出品の開発状況としましては、「KRP-203」について、導出先であるノバルティス社(スイス)が、GvHD(移植片対宿主病)での開発に集中することを決定し、開発を本格化いたしました。また、自社創製品である「FPR2作動薬プログラム」について、平成27年12月にBMS社との間でライセンス契約を締結しました。主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す新薬候補化合物であり、今後BMS社が本プログラムの対象となる適応症において、全世界での開発を進めます。さらに、杏林製薬(株)が国内でPhIII臨床試験を実施中の過活動膀胱治療薬「KRP-114V」について、キッセイ薬品工業(株)と共同開発及び共同販売に関する契約を締結しました。両社で効果的かつ効率的な開発を推進し、製造販売承認取得後、両社で共同販売を行い、製品普及の最大化を目指します。

以上の結果、研究開発費は130億19百万円(前年比3.7%減)となりました。

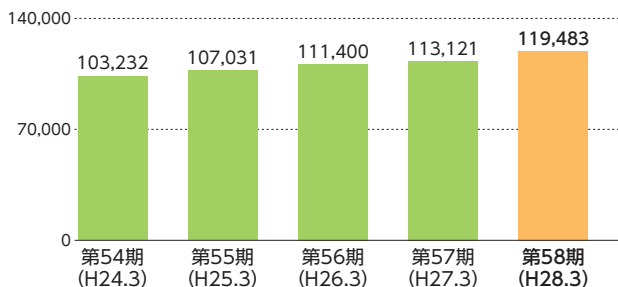
生産部門では、グループ新生産体制の構築(生産体制の全体最適化、ローコストオペレーション等)を推進しており、その一環として杏林製薬(株)岡谷工場の全ての生産機能を当社の子会社であるキョーリン製薬グループ工場(株)に移転し、平成28年9月(予定)に同工場を閉鎖することいたしました。

**ヘルスケア(スキンケア)事業** スキンケア製品を取り扱うドクタープログラム(株)では、個人消費の低迷、企業間競争の激化により、売上は前年を下回りました。この結果、当セグメントの売上高は12億44百万円(前年比7.8%減)、営業損失は77百万円(前年は営業損失20百万円)となりました。

売上高 119,483百万円

前年比5.6%増

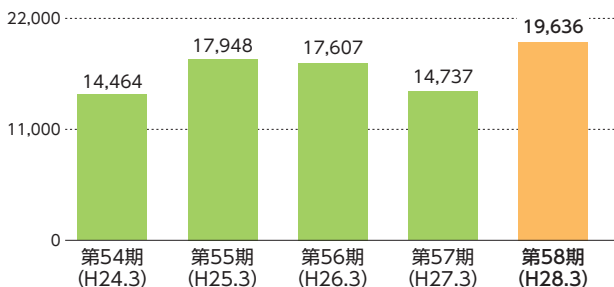
(単位：百万円)



営業利益 19,636百万円

前年比33.2%増

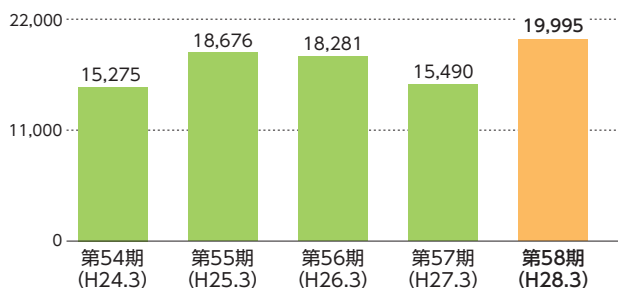
(単位：百万円)



経常利益 19,995百万円

前年比29.1%増

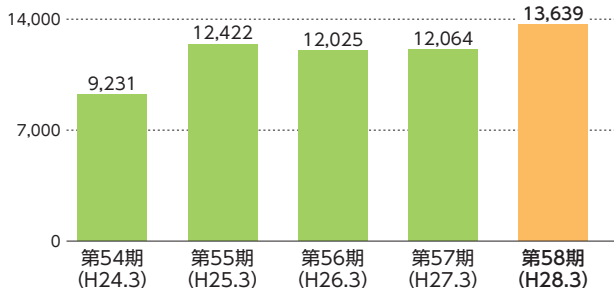
(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 13,639百万円

前年比13.1%増

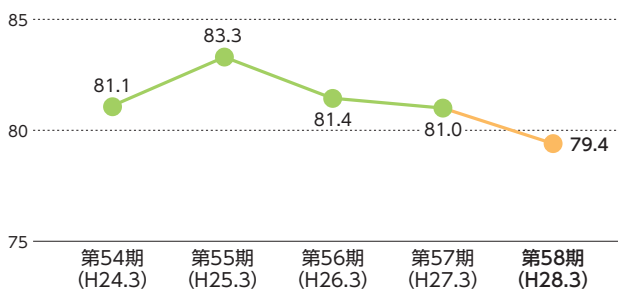
(単位：百万円)



自己資本比率 79.4%

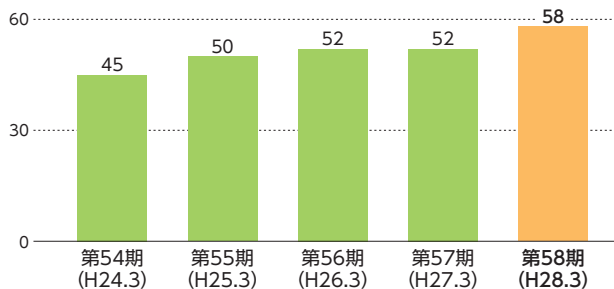
前年比1.6ポイント減

(単位：%)



配当金 58円

(単位：円)



## ● 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当期末 平成28年3月31日現在	前期末 平成27年3月31日現在
【資産の部】		
<b>流動資産</b>	<b>138,483</b>	129,064
<b>固定資産</b>	<b>59,342</b>	54,318
有形固定資産	22,788	19,374
無形固定資産	1,201	1,184
投資その他の資産	35,353	33,760
<b>資産合計</b>	<b>197,825</b>	183,383
【負債の部】		
<b>流動負債</b>	<b>28,052</b>	27,773
<b>固定負債</b>	<b>12,723</b>	7,009
<b>負債合計</b>	<b>40,776</b>	34,782
【純資産の部】		
<b>株主資本</b>	<b>149,808</b>	140,518
資本金	700	700
資本剰余金	4,752	4,752
利益剰余金	147,331	137,577
自己株式	△2,975	△2,511
その他の包括利益累計額	7,241	8,082
<b>純資産合計</b>	<b>157,049</b>	148,600
<b>負債純資産合計</b>	<b>197,825</b>	183,383

## ● 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>119,483</b>	113,121
売上原価	47,360	46,598
<b>売上総利益</b>	<b>72,122</b>	66,522
販売費及び一般管理費	52,486	51,785
<b>営業利益</b>	<b>19,636</b>	14,737
営業外収益	531	768
営業外費用	172	16
<b>経常利益</b>	<b>19,995</b>	15,490
特別利益	1,940	4,505
特別損失	3,120	2,434
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>18,815</b>	17,561
法人税、住民税及び事業税	5,191	4,712
法人税等調整額	△15	785
<b>当期純利益</b>	<b>13,639</b>	12,064
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>13,639</b>	12,064

## ● 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>11,137</b>	6,391
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>650</b>	△1,364
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△2,245</b>	△5,233
<b>現金及び現金同等物に 係る換算差額</b>	<b>△226</b>	105
<b>現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)</b>	<b>9,315</b>	△100
<b>現金及び現金同等物の 期首残高</b>	<b>35,727</b>	35,828
<b>現金及び現金同等物の 期末残高</b>	<b>45,043</b>	35,727

主要子会社である杏林製薬(株)の主な取扱品目

当社グループの杏林製薬(株)は、魅力のある新薬の創製に努めると共に呼吸器科・耳鼻科・泌尿器科を重点領域として医薬品事業を展開しています。同社の主要取扱品目は下記のとおりです。



気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療剤  
**キプレス<sup>®</sup>**



喘息治療配合剤  
**フルティフォーム<sup>®</sup>**



気道粘液調整・粘膜正常化剤  
**ムコタイン<sup>®</sup>**



COPD (慢性閉塞性肺疾患) 治療剤  
**エクリラ<sup>®</sup> ジェヌエア<sup>®</sup>**



潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤  
**ペンタガ<sup>®</sup>**



過活動膀胱治療剤  
**ウリトス<sup>®</sup>**

脳血管障害・気管支喘息改善剤  
**ケタス**

胃炎・胃潰瘍治療剤  
**アプレース**

広範囲抗菌剤  
**バクシダール**

哺乳びん殺菌消毒剤  
**ミルトン**

環境除菌・洗浄剤  
**ルビスタ**



(平成28年5月現在)

## Ph I ~承認 (上市)

製品名・開発コード	薬効	起源	特徴	開発段階
<span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">フェーズⅠ</span> <span style="background-color: #4F81BD; color: white; padding: 2px;">フェーズⅡ</span> <span style="background-color: #C8513D; color: white; padding: 2px;">フェーズⅢ</span> <span style="background-color: #FFD700; color: black; padding: 2px;">申請</span> <span style="background-color: #92D050; color: black; padding: 2px;">承認</span>				
エクリラジェメエア KRP-AB1102 (吸入剤)	慢性閉塞性肺疾患	スペイン アルミラル社	アセチルコリン受容体拮抗作用によりCOPDに伴う呼吸困難、息苦しさ等の諸症状を改善する長時間作用型気管支拡張薬	国内 <span style="background-color: #92D050; color: black; padding: 2px;">H27年5月 上市</span>
KRP-114V	過活動膀胱	米国 メルク社	膀胱のβ3受容体に作用することで膀胱弛緩作用を増強し、頻尿の改善が期待される	国内 <span style="background-color: #C8513D; color: white; padding: 2px;">H27年1月</span>
KRP-AM1977X (経口剤)	キノロン系 合成抗菌剤	自社	薬剤耐性グラム陽性菌(MRSA含む)に対して優れた抗菌力、高い安全性が期待される	国内 <span style="background-color: #C8513D; color: white; padding: 2px;">H27年4月</span>
KRP-AM1977Y (注射剤)	キノロン系 合成抗菌剤	自社		国内 <span style="background-color: #C8513D; color: white; padding: 2px;">H28年3月</span>
KRP-209	耳鳴	ドイツ メルツ社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	国内 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">H27年8月</span>
Ad-SGE-REIC	悪性胸膜中皮腫	岡山大学	新規がん抑制遺伝子REICを使用する遺伝子治療薬。がん細胞選択的アポトーシスと抗がん免疫の活性化を誘導することが期待される	国内 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">H27年7月</span> Ph I / II

### 【導出品】

KRP-203	移植片対宿主病 (GvHD)	自社	S1P受容体アゴニスト。免疫調整剤	海外 <span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px;">ノバルティス</span>
-	非開示	自社	FPR2作動薬。主に好中球の遊走を抑制し抗炎症作用を示す	海外 ※前臨床(米国プリストル・マイヤーズスクイブ社)

### 【参考】

デスロラタジン	アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒		第二世代ヒスタミンH1受容体拮抗薬(杏林製薬㈱が日本国内における独占販売権を取得)	国内 <span style="background-color: #FFD700; color: black; padding: 2px;">MSD㈱</span>
---------	--	--	---	--

### 開発プロセスの概要

#### フェーズⅠ

##### (第Ⅰ相試験)

同意を得た少数の健康志願者を対象に、安全性のテストを行う臨床試験

#### フェーズⅡ

##### (第Ⅱ相試験)

同意を得た少数の患者さんを対象に、有効で安全な投薬量や投薬方法などを確認する臨床試験

#### フェーズⅢ

##### (第Ⅲ相試験)

同意を得た多数の患者さんを対象に、既存薬などと比較して新薬の有効性及び安全性をチェックする臨床試験

#### 申請

有効性・安全性が確認された新薬の製造販売承認を厚生労働省に申請

## 会社概要 (平成28年3月31日 現在)

商号	キョーリン製薬ホールディングス株式会社 (英文: KYORIN Holdings, Inc.)
事業内容	創薬ビジネス・医薬品事業等を営む子会社を中心とするグループ全体の経営戦略機能を担う持株会社
本社所在地	〒101-8311 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地
設立	昭和33年(1958年)
資本金	7億円
従業員	120名(連結2,420名)

## 株式の状況

発行可能株式総数	297,000,000株
発行済株式の総数	74,721,579株 (自己株式226,049株を除く)
当期末株主数	6,444名

## 役員 (平成28年6月24日 現在)

取締役及び監査役	代表取締役会長	山 下 正 弘
	代表取締役社長	穂 川 稔
	取締役	宮 下 三 朝
	専務取締役	松 本 三 臣
	常務取締役	荻 原 豊
	常務取締役	荻 原 茂
	取締役	梶 野 国 雄
	取締役	阿久津 賢 二
	取締役(社外)	尾 崎 仙 次
	取締役(社外)	鹿 内 のり 行
	取締役(社外)	高 橋 たかし 卓
	常勤監査役	宮 下 せい 征 佑
	常勤監査役	羽 磨 ひろ 寛 晃
	監査役(社外)	小 幡 まさ 雅 二
	監査役(社外)	小 西 ゆう 勇 二
	監査役(社外)	山 口 たか 隆 央

執行役員	伊 藤 洋
上席執行役員	高 橋 敬
執行役員	大野田 道 郎

## キョーリン製薬グループ各社の概要(連結子会社)

### 杏林製薬株式会社

<http://www.kyorin-pharm.co.jp/>

キョーリン製薬グループにおける中核企業として、創薬ビジネスに注力し、画期的新薬を創製することで新薬メーカーとしての使命を果たし、かつ早期にビジネス展開していくことで医薬品事業の競争力強化を図っています。新たな研究開発拠点である「わたらせ創薬センター」(写真左下)は平成27年7月開所いたしました。(写真右下は、主力工場の「能代工場」)

#### 主な事業内容

創薬研究 | 研究開発 |  
製造 | 販売



### キョーリン メディカルサプライ株式会社

<http://www.kyorin-ms.co.jp/>

医薬品に関連する広告の企画制作等を中心に、多岐にわたるコミュニケーションビジネスを手掛けると共に、環境衛生事業に積極的に取り組み、健康生活応援企業を目指すグループの一員として社会に貢献していきます。

#### 主な事業内容

販売促進 | 広告物の企画制作 |  
環境衛生事業



### キョーリン製薬グループ工場株式会社

<http://www.kyorin-fc.co.jp/>

MSD(株)から取得した医薬品生産に関する資産をもとに、医療用医薬品の製造に関する事業を行っています。今後も高品質な製品の安定的提供、製造技術の向上とコスト効率化を目指していきます。

#### 主な事業内容

製造 | 販売



### キョーリン リメディオ株式会社

<http://www.kyorin-rmd.co.jp/>

「信頼されるジェネリック医薬品企業」を目指し、品質保証・安定供給・情報提供を徹底し、患者さんが安心して服用できる特色のある後発医薬品の提供に取り組んでいます。

#### 主な事業内容

研究開発 |  
製造 | 販売



### ドクタープログラム株式会社

<http://www.drprogram.co.jp/>

新規美容成分の研究や成分浸透技術の開発で培ってきた製薬発想のナノカプセル技術を製品づくりの基盤としています。今後もこれまで市場に存在しなかった新しい製品を創造し、女性の美と健康に貢献していきます。

#### 主な事業内容

スキンケア製品の開発・販売



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問合せ先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告掲載紙	日本経済新聞

### (ご注意)

1. 口座管理機関(証券会社等)の口座に株式をお預けの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、お取引の口座管理機関(証券会社等)が窓口となります。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまの場合住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行証券代行部(株主メモ参照)にお問合せ願います。
3. 平成28年6月6日付で発送いたしました第58回定時株主総会招集ご通知に同封の「配当金計算書」は、確定申告の際の参考資料としてご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主さまにつきましては、お取引の証券会社にご確認ください。
4. 未受領の配当金につきましては、左記お取扱店(株主メモ参照)及びみずほ銀行本店・全国各支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内 <http://www.kyorin-gr.co.jp/>



株主の皆さまにタイムリーな情報をお届けいたしておりますのでぜひご覧ください。

### ホームページサイト

キョーリン製薬グループについて	トップメッセージ、企業理念・ビジョン、コーポレートガバナンス、会社概要、組織図 等
事業内容	新医薬品、ジェネリック医薬品、一般用医薬品他、ヘルスケア事業 等
株主・投資家情報	トップメッセージ、研究開発パイプライン、財務業績、IRライブラリ、アニュアルレポート、株式情報 等
グループ経営戦略、CSR活動、お問い合わせ 等	

## 株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 4569

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主サーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

- アンケートのお問合せ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)  
「e-株主サーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

## キョーリン製薬ホールディングス株式会社

〒101-8311  
東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地  
TEL:03-3525-4700(代)



PROJECT-  
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO<sub>2</sub>はPROJECT-With the Earthを通じてオフセット(相殺)しています。

UD  
FONT

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

